



平成29年度 介護老人保健施設経営セミナー 開催要領

－報酬同時改定の動きと在宅支援機能を高めるための方策－

1. 開催趣旨

介護老人保健施設は、包括的ケアサービス機能、リハビリテーション機能、在宅復帰機能、そして在宅生活支援機能を兼ね備えた、在宅復帰を総合的に支える中間施設として地域に根ざしてきました。

このようななか、新たな介護保険施設である「介護医療院」の創設、診療報酬・介護報酬の同時改定、30年度からの第7期介護保険事業（支援）計画の実施など、介護老人保健施設を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。また、介護医療院も加わるなど高齢者施設の多様化が進むなかで、介護老人保健施設の役割をより明確にしていくことが今後ますます重要となってきます。それでは、地域包括ケアシステムにおいて、必要不可欠で中心的な施設になるために必要な機能とは何でしょうか。

今回のセミナーでは、診療・介護報酬同時改定の動きとその背景にある政策の方向性をとらえるとともに、「在宅復帰」、「在宅療養支援」および「看取り」に取り組む先進的な実践事例を学ぶことで、地域のニーズに応え、健全で安定した経営基盤を構築するヒントを皆さんとともに考えます。

2. 主催 独立行政法人福祉医療機構

3. 共催 公益社団法人全国老人保健施設協会（予定）

4. 開催日 平成29年11月10日（金）

5. 会場 新霞が関ビル「全社協・灘尾ホール」（東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビルL B階）
※東京メトロ「霞ヶ関駅」、「虎ノ門駅」から徒歩

6. 定員及び対象者 200名程度
介護老人保健施設を経営する理事長、施設長、事務長など施設経営に携わる方

7. 受講料 1名 8,640円（消費税込） ※受講料の事前振込が必要となります。

8. 受講申込受付開始日時 平成29年9月11日（月） 午前10時から
※ お申込みは先着順とし、定員になり次第締め切ることといたします。
なお、お申込みいただいた時点で定員に達している場合は、お電話にてご連絡申し上げます。
※ 受付開始日時以前に送信された「受講申込書」は受領いたしかねますので、ご注意ください。

9. 申込方法 FAXにてお申込みください。（お申込み先は福祉医療機構ではありませんのでご注意ください。）
別添「受講申込書」に必要事項をご記入いただき、次のFAX番号あてご送信ください。
FAX番号：03-3595-1119【名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店】機構ホームページから申込書をダウンロードすることも可能です。（トップページ → 新着情報・お知らせ → 障害福祉サービス経営セミナー）
※ お申込み後、登録されたFAX番号に「申込受領書」が送信されます。申込受領書が届かない場合は、
電話番号：03-3595-1121【名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店】までご連絡ください。

10. その他

- ・ 申込方法、受講料支払等の流れについては、別紙「セミナーお申込みからご受講までの流れ」をご参照ください。
- ・ 受講料は、セミナー開催日14日前までに指定された口座にご入金ください（当日の現金払いは不可）。
- ・ 受講料に昼食代は含まれておりません。
- ・ 交通手段・駐車場・宿泊先等は、受講者ご自身でのご準備・ご確認をお願いいたします。
- ・ 都合により講師や講義内容等に変更が生ずる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

受付に関するお問い合わせ

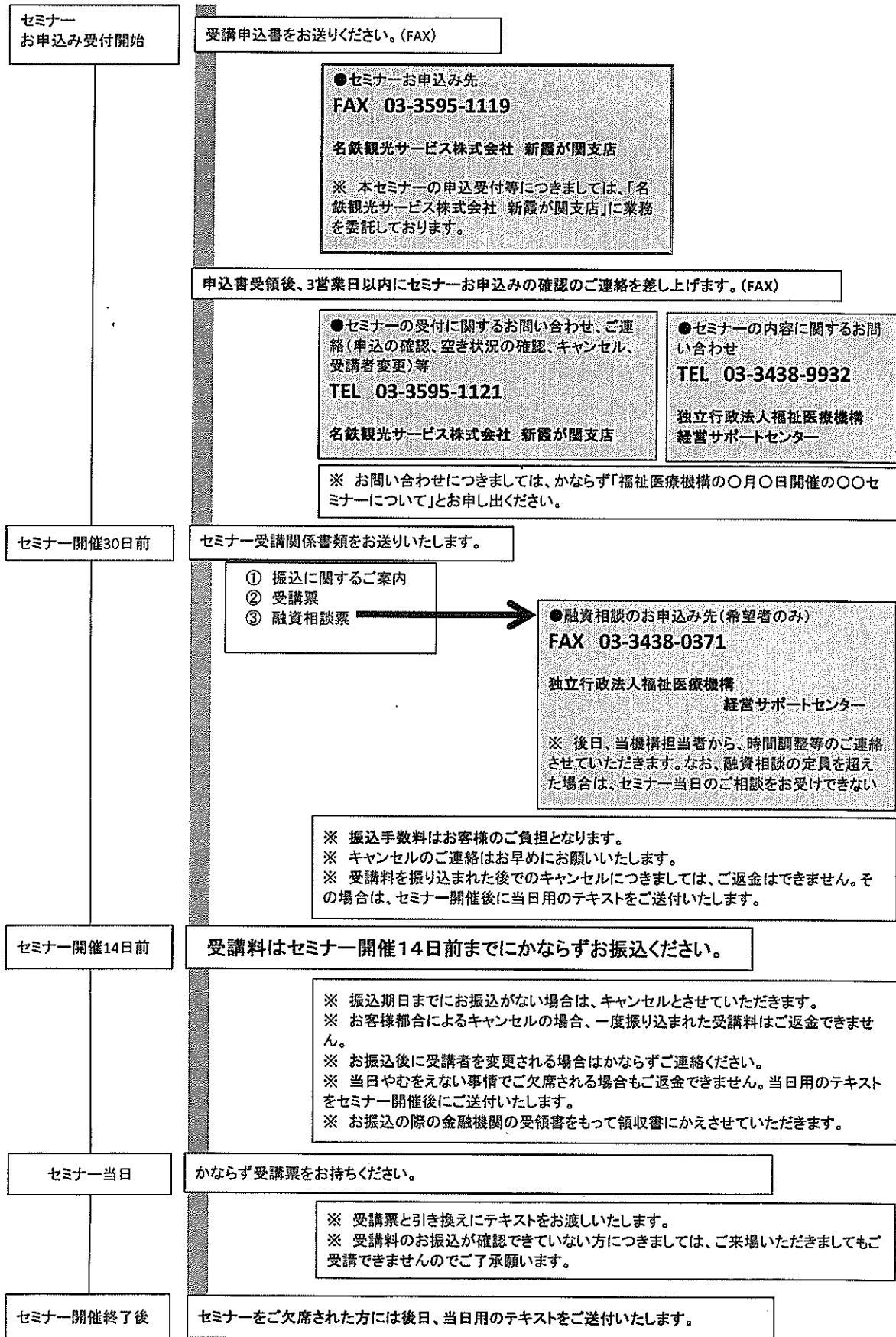
名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店
TEL：03-3595-1121

セミナー内容に関するお問い合わせ

独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター
TEL：03-3438-9932

(別紙)

セミナーお申込みからご受講までの流れ



※ 日付に関してはあくまでも目安であり、各セミナーごとに異なる場合がございます。予めご了承ください。

当機構の事業運営につきましては、平素より格別のご愛顧を賜りまして、心より御礼申し上げます。経営セミナーの内容をご検討いただき、是非ご受講いただければ幸いです。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

介護老人保健施設経営セミナー

—報酬同時改定の動きと在宅支援機能を高めるための方策—

主催：独立行政法人福祉医療機構 共催：公益社団法人全国老人保健施設協会

介護老人保健施設は、包括的ケアサービス機能、リハビリテーション機能、在宅復帰機能、そして在宅生活支援機能を兼ね備えた、在宅復帰を総合的に支える中間施設として地域に根ざしてきました。

このようななか、新たな介護保険施設である「介護医療院」の創設、診療報酬・介護報酬の同時改定、30年度からの第7期介護保険事業（支援）計画の実施など、介護老人保健施設を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。また、介護医療院も加わるなど高齢者施設の多様化が進むなかで、介護老人保健施設の役割をより明確にしていくことが今後ますます重要となってきます。それでは、地域包括ケアシステムにおいて、必要不可欠で中心的な施設になるために必要な機能とは何でしょうか。

今回のセミナーでは、診療・介護報酬同時改定の動きとその背景にある政策の方向性をとらえるとともに、「在宅復帰」、「在宅療養支援」および「看取り」に取り組む先進的な実践事例を学ぶことで、地域のニーズに応え、健全で安定した経営基盤を構築するヒントを皆さんとともに考えます。

【東京会場】平成29年11月10日（金）

全社協「灘尾ホール」東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビルL B階
（東京メトロ「霞ヶ関」駅から徒歩8分、「虎ノ門」駅から徒歩5分）

日程・会場等

- | | |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:30~10:10 | 受付 |
| 10:10~10:30 | オリエンテーション
開会のあいさつ 独立行政法人福祉医療機構
公益社団法人全国老人保健施設協会 |
| 10:30~11:50 | 「介護老健施設が担う在宅復帰支援機能強化への方策
～診療・介護報酬同時改定の動きを見ながら～（仮題）」
＜講師＞公益社団法人全国老人保健施設協会 会長 東 憲太郎 氏
（厚生労働省 社会保障審議会 介護給付費分科会 委員） |
| 11:50~12:00 | 「医療貸付事業の概要について（仮題）」
＜説明者＞独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部 医療審査課 |
| 12:00~13:00 | 休憩（簡易融資相談コーナー） |
| 13:00~14:20 | 「リハビリテーション機能の向上と在宅復帰支援の取り組み（仮題）」
＜講師＞公益社団法人全国老人保健施設協会 学術委員会 ケアマネジメント部会員
医療法人和光会 介護療養型老人保健施設 患愛荘 事務長 谷川 敦弘 氏 |
| 14:30~15:50 | 「在宅復帰・在宅支援機能と看取り機能の強化による地域包括ケアの推進（仮題）」
＜講師＞公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長
公益社団法人地域医療振興協会 常務理事 折茂 賢一郎 氏 |
| 16:00~16:30 | 「2016年度決算（速報）からみた介護老人保健施設の経営状況（仮題）」
＜説明者＞独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ
※講師および講義内容等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 |

●受講料：1名8,640円（消費税込）

（受講料に昼食代は含まれません。宿泊施設や交通手段等はご自身でご準備ください。）

●お申込方法：FAXにてお申込みください。先着順にて受付いたします。

（お申込みから3日以内に受付確認のFAXをお送りいたします。3日以内に届かない場合はご連絡ください。）

●お支払方法：セミナー開催日前に受講料のお支払いが必要です。

（お手続き方法は、受付後にFAXでお送りいたします。また、ホームページにも詳細を掲載しております。）

本セミナーの申込受付等につきましては、「名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店」に業務を委託しております。

TEL：03-3595-1121 FAX：03-3595-1119

<http://hp.wam.go.jp/>

福祉医療機構

検索



〒105-8486 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル9階
独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ セミナーチーム
TEL：03-3438-9932 FAX：03-3438-0371



平成 29 年度介護老人保健施設経営セミナー日程表

—報酬同時改定の動きと在宅支援機能をもつための方策—

【主 催】独立行政法人福祉医療機構
 【共 催】公益社団法人全国老人保健施設協会
 【開催日】平成 29 年 11 月 10 日（金）
 【会 場】全社協・灘尾ホール
 （東京都千代田区霞が関 3-3-2）

介護老人保健施設は、包括的ケアサービス機能、リハビリテーション機能、在宅復帰機能、そして在宅生活支援機能を兼ね備えた、在宅復帰を総合的に支える中間施設として地域に根ざしてきました。

このようななか、新たな介護保険施設である「介護医療院」の創設、診療報酬・介護報酬の同時改定、30 年度からの第 7 期介護保険事業（支援）計画の実施など、介護老人保健施設を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。また、介護医療院も加わるなど高齢者施設の多様化が進むなかで、介護老人保健施設の役割をより明確にしていくことが今後ますます重要となってきます。それでは、地域包括ケアシステムにおいて、必要不可欠で中心的な施設になるために必要な機能とは何でしょうか。

今回のセミナーでは、診療・介護報酬同時改定の動きとその背景にある政策の方向性をとらえるとともに、「在宅復帰」、「在宅療養支援」および「看取り」に取り組む先進的な実践事例を学ぶことで、地域のニーズに答え、健全で安定した経営基盤を構築するヒントを皆さんとともに考えます。

9:30~10:10	受付（40分）
10:10~10:30 （20分）	オリエンテーション 開会のあいさつ 独立行政法人福祉医療機構 公益社団法人全国老人保健施設協会
10:30~11:50 （80分）	「介護者健施設が担う在宅復帰支援機能強化への方策 ～診療・介護報酬同時改定の動きを見ながら～（仮題）」 〈講師〉 公益社団法人全国老人保健施設協会 会長 東 憲 太 郎 氏 （厚生労働省 社会保障審議会 介護給付費分科会 委員）
11:50~12:00 （10分）	「医療貸付事業の概要について（仮題）」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部 医療審査課
12:00~13:00	休憩（60分）～融資相談会～
13:00~14:20 （80分）	「リハビリテーション機能の向上と在宅復帰支援の取り組み（仮題）」 〈講師〉 公益社団法人全国老人保健施設協会 学術委員会 外部会員 医療法人和光会 介護療養型老人保健施設 恵愛荘 事務長 谷 川 敦 弘 氏
14:20~14:30	休憩（10分）
14:30~15:50 （80分）	「在宅復帰・在宅支援機能と看取り機能の強化による地域包括ケアの推進（仮題）」 〈講師〉 公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長 公益社団法人地域医療振興協会 常務理事 折 茂 賢 一 郎 氏
15:50~16:00	休憩（10分）
16:00~16:30 （30分）	「2016 年度決算（速報）からみた介護老人保健施設の経営状況（仮題）」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ

※ 講師および講義内容等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。